

日本臨床検査専門医会

2019 年度第二回全国幹事会議事録

2019 年 11 月 21 日

日本臨床検査専門医会

2019年度 第二回全国幹事会議事録

開催日時：2019年11月21日(木曜日)12:00～13:20

開催場所：岡山コンベンションセンター

出席者：登勉会長、佐藤尚武、×谷直人 各副会長、東田修二庶務・会計幹事、
東條尚子、古川泰司、宮崎彩子、盛田俊介、米川修 各常任幹事、
藤井聡、植木重治、浅井さとみ、増田亜希子、伊藤弘康、木村秀樹、
中村文彦、日高洋、横崎典哉、橋口照人、松井啓隆 各全国幹事、
佐守友博、土屋達行 監事

欠席者：五十嵐岳 常任幹事、久川聡、松下一之、長井篤、大澤春彦 各全国幹事

事務局：市川綾子

(敬称略)

定刻、登勉会長挨拶の後、議長として登勉会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

[審議事項]

第1号議案 議事録署名人選任について

議長は、本会の議事録署名人の選出を議場に諮り、下記の2名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人：木村秀樹 全国幹事、増田亜希子 全国幹事

[報告事項]

1. 各種委員会報告

①情報・出版委員会

盛田委員長より、10月からJACLaP NEWS 編集主幹が五十嵐先生から九州大後藤先生に交代したことが報告された。

②資格審査・会則改定委員会

東條委員長より、今年度今までに18人の新規の方の入会を承認したことが報告された。他は審議事項参照。

③渉外委員会

×谷委員長より、現在賛助会員は33社であること、また来年の振興セミナーの内容については、来年は2年に1度の診療報酬改定の年なのでそれに合ったテーマになる予定だが、それについては明日の委員会で検討する旨報告があった。

④広報委員会

五十嵐 委員長に代わり、東田 庶務・会計幹事より以下の報告があった。

レジデントノートへの連載継続中、第3回 臨床検査若手のためのハンズオンセミナー(8月開催、医学生5名、初期臨床研修医7名が参加)、第66回臨床検査医学会学術集会ワークショップ企画、令和元年度こども霞が関見学デー(8/7:121名、8/8:229名のこども達が臨床検査を体験)、LINEスタンプ完成(40種類 / ¥120で購入可能)、専門医会ホームページ刷新(11月にリリース予定)、臨床検査 Facebook 稼働状況(現在33名登録、うち3名が2020 専門医試験受験予定)、専門医会教育セミナー PR(レジデントノート、Facebook を使用して本セミナーの広報、受講者45名、2019年度受講者55名まで増加)、京都 RCPC challenge (6/22 京都府立医科大学にて開催。医学生36名参加)、KeMA との RCPC 勉強会(5/25 東京医科歯科大学にて開催。医学生41名参加・10/20 順天堂大学にて開催。医学生45名参加)、岡山 RCPC challenge(11/24 にワークショップ)など多彩に活動している。

⑤保険点数委員会

古川 委員長より、以下の報告があった。

2020年度の診療報酬改定に向けての提案書は、4月に内保連経由で提案されており、保険点数委員会からは11件、その後5月中に内保連のヒアリング、8/1に厚労省向けのヒアリングが行われて現在中医協での審議を待っているところである。11件中、10月末の医療技術評価会で提案書の第1次選考が行われて2つ落とされている、9つの提案は第1次閉門を通過した、という状況。

1～2月にかけて第2回の審議があり、そのあと中医協にかかって、最終的に保険収載されるか決まる。この内容は学術集会中検査医学会の保険点数委員会の委員会企画でも紹介する予定。

現在は審議の結果を待つという段階であることが報告された。

⑥ネットワークシステム委員会

宮崎 委員長より、ネットワークシステム利用の際、パスワードを忘れてしまったときにすぐにメールでパスワードがかえってくるようなそのシステムを作成、ログインの画面に「パスワードを忘れた方はこちら」という文言が出ている、と紹介があった。また、画像添付の際のファイル形式の制限については、今の使い方ガイドには、詳しい説明がないので必要な案内を追加する予定である旨報告があった。

⑦教育研修委員会

米川 委員長より、以下のとおり報告があった。

教育セミナーに関しては、講師の増田先生から専門医会に入っていない受講生や受かった

あとも入会しない受講生がいると指摘があり、受講資格の変更を前回の常任幹事会で提案した。会員の受講を原則とするが、初期研修医、学生は非会員でも受講可とする、また、講師が試験実行委員を兼ねている点も変更を要するので次期の委員長にその点を引き継ぐ。

2. 選挙管理委員会からの報告

今年度の選挙管理委員会 増田委員長より選挙について以下の報告があった。

予定通り選挙を実施し、開票結果を速やかにホームページに掲載することができた。

但し、以下の3点で対応を要した。

1. 会長選挙の被推薦者3名のうち1名は事前の連絡や内諾がなかった。
2. 投票要項および投票用紙に年度の誤記があった。
3. 被選挙人名簿に関する指摘・・・2020年1月1日現在で70歳以上の方が少数含まれている、との指摘があり、確認したところ9名の該当者が含まれていた。

今後の選挙における検討事項として、

- ・会長選挙において、事前の内諾なしに推薦されることを防ぐために推薦用紙に「内諾済み」のチェックボックスを設ける、立候補・推薦の受付期間を十分に設ける、等対策が必要である。
- ・投票要項、投票用紙の誤記・名簿の誤りについてはより多くの人で確認すれば防げる。選挙日程の見直しも必要。

2. 「全国検査と健康展」状況

✕谷 副会長より、以下の通り報告があった。

ご協力いただいた先生方に感謝を申し上げ、これから開催予定の会場担当の先生方には引き続きご協力をお願いしたい。日臨技の理事によると、今年の秋田で一通り全国7支部の持ち回りは終わった、ということだった。来年以降の実施については検討中、引き続き同じような催しは続けていく予定と聞いている。次年度以降は渉外委員長に担当していただくようお願いする。

3. 日本臨床検査医学会専門医・管理医審議会報告

佐藤 副会長より、第1回(6/19)、第2回(8/31)会議の報告があった。

2回の会議では、第36回臨床検査専門医認定試験について、第11回臨床検査管理医講習・認定試験について、教育委員会報告、2020・2021年度試験委員会について、新専門医制度関連事項、名誉臨床検査専門医について、第37回臨床検査専門医認定試験について、第66回学術集会“RCPC challenge(医学部学生・初期研修医を対象としたRCPC勉強会)参加者への補助について、日本臨床検査専門医会からの要望(教育セミナー講師が必要な情

報は得られるようにしてほしい, 試験実行委員が教育セミナーの講師を担当するのは避けるべき)について審議・報告があった。(詳細は第2回常任幹事会議事録に記載済)

4. 第30回(2020年度)春季大会(鹿児島)について

橋口 全国幹事(第30回春季大会大会長)より, 以下の報告があった。

会期:2020年5月15日・16日 テーマ:次世代バイオマーカーへの挑戦

会場:TKP ガーデンシティ鹿児島中央(鹿児島駅空港バスまで歩いて3分)200人参加可能
多くの会員の方の学びの場となるよう準備中。

5. その他

登会長より, 11月14日の振興協議会理事会の報告があった。

構成団体の理事会で確認してほしいことが2点, 1つは, 振興協議会を法人化する件。

より社会的な地位として確立するため, 任意団体から一般社団法人になることを了承してほしい。

その一環ですでに事務所を大森の日臨技の事務所の一角を借りるということで11/1に契約が終わっている。2つ目は大規模災害対策委員会の立ち上げの件。委員長には〆谷先生が就任した。

〆谷副会長より, 5団体中日臨技, 日衛協, 臨薬協はそれぞれ活動しており, 東日本大震災, 熊本地震の際, 構成団体が協力して臨床検査の支援をした, という経緯もあり, 今後もいっしょに協力して支援していきましょう, ということで大きな委員会として立ち上がった。第1回の会合は12/5, 専門医会からも次期副会長には委員になっていただいた, と報告があった。

[審議事項]

第2号議案 2020年度予算案について

議長は, 東田 庶務会計幹事に2020年度予算案について説明させた。

- ・収入については会員(1万円)614名, 有功(5千円)79名, 名誉(免除)44名で会費収入を計上, 賛助会員については, 来年度は33社から会費・寄附の収入の予定。広告費は要覧発行のない年を参考に計上。
- ・支出の予算については, 通信費(事務局)は郵便振替手数料の値上げのため, 4万の支出増, またホームページ維持費は契約先変更のため新たな予算計上, ホームページの管理からはずれる八木書店には会員管理委託費として月1万+消費税分で計上。

本件について議場に諮ったところ, 満場一致で承認された。なお, 2020年度予算案については資料2として本議事録章末に掲載する。

第 3 号議案 2020 年度の名誉会員、有功会員の推薦について

資格審査・会則改定委員会より、名誉会員、有功会員の推薦候補者として以下 10 名が提案された。

名誉会員候補(4名):佐守友博, 田窪孝行, 玉井誠一, 渡邊直樹(各先生)

有功会員候補(6名):金澤知徳, 田内一民, 土屋眞一, 寺井 格, 中村康寛, 保坂典子(各先生)

名誉・有功会員の推薦について異議なく承認された。

第 4 号議案 会則、細則の改定について

会則、細則、ホームページ間で退会届の名称ならびに退会日の定義に不整合があるため、資格審査・会則改定委員会から改定を提案した。記入用紙は「退会届」に統一し、退会は本人の意思であることから、当会が退会届を受理した日を会員資格の喪失時期とすることを、全会一致で承認した。

現行	改定後
会則 第3章 会員 第7条 退会希望者は会長あて <u>退会申込書</u> を事務局に提出する。会長の確認日を以て退会日とする。	会則 第3章 会員 第7条 退会希望者は会長あて <u>退会届</u> を事務局に提出する。会長の確認日を以て退会日とする。会員資格の喪失の時期は、 退会届 を本会が受理した日とする。
細則 (会員資格の喪失の時期) 第4条 会則第3章、第8条の会員資格の喪失の時期は、退会届を本会が受理した日とし、幹事会の承認を得て確定とする。	細則 (会員資格の喪失の時期) 第4条 会則第3章、第8条の会員資格の喪失の時期は、退会届を本会が受理した日とし、幹事会の承認を得て確定とする。 <以下、条番号を繰り上げる。 >

第 5 号議案 監事の被選挙権について

今夏の選挙では会長立候補者が監事に当選した。今年度の選挙管理委員会宛てに監事は会計や運営などを第三者的に監査する独立した役職なので、会長立候補者が監事になることは適切なのかという意見が寄せられた。そのため、資格審査・会則改定委員会で、今後の選挙の在り方について検討した結果、

意見1:任意団体であるため、厳密な区分けは必要ないのではないか。監事にふさわしいと思う人に投票するので、問題はない。現状のままでよい。

意見2:会長と監事は職務が異なるので、会長立候補者は監事の被選挙権リストから除いた方がよい。

以上の2つの意見があり、結論には至らなかったことが報告され、今後の在り方について審議された。

会長選挙と同じように推薦も受け付ける、立候補制にすれば選挙手順が簡易になるのではないかと、推薦人の資格の規定は必要になるのか、知らない間に推薦されていたということのないよう予防策が必要、監事は立候補するものではないと思うので推薦だけにしてその方が受けたら選挙ということにすればよいのではないかと、等の意見が出た。

審議の結果、監事選挙は推薦制にすることが承認された。

登会長より、会長・監事両方に推薦された場合、会長推薦を優先することが提案され、全会一致で承認された。

第6号議案 選挙管理委員会内規

選挙管理委員会からの提案を受けて、選挙管理委員会内規、選挙日程の文言の見直しについて、資格審査・会則改定委員会で検討し、資料1の通り改定の提案があった。主な改定点は以下のとおり。

- ・「選挙予告日」を「選挙日程を公表する(公示)」とする。
- ・「公示開始」「公示終了」の表現をやめる。
- ・投票開始(投票用紙発送予定日)とする。

佐守監事より、内規の番号「5」が重なっているため修正が必要と発言があった。盛田幹事より、投票開始が、投票用紙発送予定日というのは違和感があるので、投票用紙到着日、とする方がよい旨発言があった。増田委員長より、補足として投票用紙発送日(○月○日頃投票用紙を発送します等)を記載しておけばよい、と発言があった。東條委員長より、これは内規なので、実際の日程にはわかりやすい言葉で記載してほしい、と発言があった。

選挙管理委員会内規については意義なく承認された。

登会長より、会費については名誉会員・有功会員が増えることで、また賛助会員は合併で会社が少なくなっていくことで収入は減っていく、歴代の先生方のお陰で蓄えはあるものの課題は多い、と発言があった。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

令和 2年 2月 25日

木村 秀樹

令和 2年 3月 4日

増田 亜希子

日本臨床検査専門医会選挙管理委員会内規

1. 選挙管理委員会は会長ならびに監事の選挙に関する業務を統括する。
2. 選挙管理委員は会長任期満了年の年次に会長により若干名が任命される。
3. 選挙管理委員は選挙権を有するが、被選挙権は有さない。
4. 選挙管理委員会にはオブサーバーとして庶務・会計幹事が参加する。
5. 第1回選挙管理委員会は当該年度第1回総会以前に開催し、以下の事項を決定する。
 - 1) 互選により選挙管理委員長を選出する。
 - 2) 選挙日程（以下）
 - ・選挙~~予告日~~日程を公表する（公示）
 - ・推薦・立候補~~受付手続き~~開始~~（公示開始）~~
 - ・推薦・立候補~~締切り~~ ~~（公示終了）~~
 - ・会長~~候補者~~所信表明締切日
 - ・投票開始~~日~~（投票用紙発送予定日）
 - ・投票締切り日
 - ・開票日
 - 3) 公示方法
 - 4) 選挙方式
 - ・投票方式
 - ・無効票判定の基準
5. 選挙管理委員長は4. で決定した事項を選挙規定として作成し、全国幹事会の承認を経て、当該年度第1回総会で報告する。
6. 選挙管理委員長は、会長ならびに監事の選挙終了後、速やかに日本臨床検査専門医会ホームページに選挙管理委員会名での公告を掲載し、これを以て会員への公式な結果報告とする。
7. 本内規の変更は常任幹事会の承認を得て行う。

（下線部は会則に基づく事項）

平成 29 年 2 月 24 日制定

日本臨床検査専門医会

2020年度予算案 (参考資料: 2019年度予算)

		項目	2019年度予算(当初案)	2019年度補正予算	2020年度予算案	根拠	
収入欄	入金	会員会費	6,575,000	6,575,000	6,535,000	会員(1万円) 614名、有功(5千円)79名、名誉(免除)44名	
		賛助会員会費・寄付金	3,500,000	3,500,000	3,300,000		
		小計	10,075,000	10,075,000	9,835,000		
	その他	広告収入	200,000	200,000	250,000	2018年度(要覧発行のない年度)実績より	
		教育セミナー参加費	400,000	400,000	400,000		
		生涯教育講演会参加費	200,000	200,000	200,000		
		振興セミナー参加費	60,000	60,000	60,000	2019年から参加費を2,000円に増額	
		利息	1,000	1,000	1,000		
		小計	861,000	861,000	911,000		
	入金合計		10,936,000	10,936,000	10,746,000		
支出欄	庶務費	事務所維持費	1,700,000	1,700,000	1,700,000		
		人件費	1,750,000	1,750,000	1,750,000		
		設備費	50,000	50,000	50,000		
		電話・FAX使用料	60,000	60,000	60,000		
		通信費(事務局)	170,000	170,000	210,000	会員会費の郵便振替手数料が70円値上げしたため	
		事務局経費	150,000	150,000	150,000		
	小計		3,880,000	3,880,000	3,920,000		
	事業費	印刷代	2,000,000	2,000,000	1,400,000	2018年度実績より	
		要覧印刷代	0	0	0		
		通信費	800,000	800,000	600,000	2018年度実績より	
		春季大会補助金	500,000	500,000	500,000		
		臨床検査振興セミナー費	850,000	850,000	850,000		
		教育セミナー費	650,000	650,000	650,000		
		会議費	1,000,000	1,000,000	1,000,000		
		交通費	100,000	100,000	100,000		
		宿泊費	30,000	30,000	30,000		
		原稿料	50,000	50,000	50,000		
		専門医ホームページ開発費	0	1,738,000	0		
		専門医ネットワーク移設費用	0	91,800	0		
		専門医ネットワーク維持費	100,000	100,000	100,000		
		HP維持費	0	0	330,000	2019年より契約先を変更	
		会員管理委託費	170,000	170,000	132,000	名簿管理、メールマガジン配信と発信を八木書店に委託@10,000+消費税×12ヶ月	
		広報活動費(委員会HP)	50,000	50,000	50,000		
		JCCLS会費	50,000	50,000	50,000		
		WASPALM会費	55,000	55,000	55,000		
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	300,000		
		内保連	200,000	200,000	200,000		
		予備費	151,000	151,000	429,000		
		小計		7,056,000	8,885,800	6,826,000	
		出金合計		10,936,000	12,765,800	10,746,000	
		収支決算		0	-1,829,800	0	